



平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第27号

「時を営む、時を繕う」 奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

魅せる！現場 ～和歌山より小学5年生（82名参加）～

和歌山から子供たちがやってきました。奈良時代の前半、平城京の中心施設であり重要な儀式に用いられた第一次大極殿院や大極門（南門）の復原状況を事前に勉強して、たくさんの質問を持って職人さんや私たちに聞きに来てくれました。



職人さんの仕事を見ながらも次々に質問がありました



瓦職人さんも困ってしまう難しい質問もあり私たちの方が勉強をさせて頂く機会になりました。



最後は皆で、班ごと、グループ毎に模型の“しび”の前で記念撮影



瓦を実際に“見て”“触れて”“感じて”もらいました



宮大工の棟梁さんに直接質問をしてもらいました



金物の見本にも触れてもらいました。和同開珎の型、“玉虫のしび”模型なども触れました

工房めぐり（冬） 平城宮跡・東楼 復原工事

～※東楼の「魅せる！現場（10名以上の団体向け）」は、新規受付を終了しました～
工房めぐり（第2回）の開催を予定しています。詳細が決まり次第、掲載させていただきます。





平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第27号

「時を営む、時を繕う」 奈良時代に今を感じる 伝統技能の継承現場



貴重な瓦の実物に触れて年代毎の特徴を感じてもらいました



宮大工の実際の仕事を見て、職人の技を感じてもらいました



参加した子供たち全員から、感想を頂きました！本当に感謝です！

魅せる！現場（ミニガイドツアー） ～奈良市内の大学生たちが参加～

祝日毎に行っているミニガイドツアー（10月14日）に大学生8名（建築系・院生）が参加してくれました。団体向けの「魅せる！現場」に、先約済など残念ながら「お断りをした皆様の受け皿」で開催しておりますが、通常の見学ルート・説明内容とは違い、少人数ならではの参加者の皆様と対話しながら見学場所を進める楽しい見学会です。次回11月4日（祝日・月）が最終回の予定です。



建築学生ならではの鋭い質問も多くありました（BIMの取り組み状況の見学中）



土壁の実物モックアップ視察の説明や木材の内容など専門的な見学になりました



原寸図の見学、棟梁との質疑応答、瓦の確認など、学生ならではの見学会でした

工房めぐり（冬） 平城宮跡・東楼 復原工事

～※東楼の「魅せる！現場（10名以上の団体向け）」は、新規受付を終了しました～
工房めぐり（第2回）の開催を予定しています。詳細が決まり次第、掲載させていただきます。

（工房ならではの体験コーナーも予定しています）

